

案内 本館展示

特別展示『空間博物学の新展開／UMUT SPATIUM』

会期：2021年11月11日（木）～2023年2月3日（金）

開館日：水・木・金曜日（休日と重なる場合は振替はせず休館）

開館時間：10：00～17：00（入場は16：30まで）

会場：本郷本館展示場

主催：東京大学総合研究博物館

協力：IARU-国際研究型大学連合、株式会社クリモト

IMT展示

インターメディアテク開館十周年記念特別展示『極楽鳥』

会期：2023年1月20日から2023年5月7日

会場：インターメディアテク3階

主催：東京大学総合研究博物館+レコールジュエリーと宝飾芸術の学校

特別展示『被覆のアナロジー——組む衣服／編む建築』

会期：2022年11月5日から2023年4月2日

会場：インターメディアテク2階「GREY CUBE（フォーラム）」

主催：東京大学総合研究博物館

共催：株式会社Ri Design | 隈研吾建築都市設計事務所

スクール・モバイルミュージアム

『東大地質図コレクション』

会期：2022年11月29日（火）～2023年3月31日（金）

開館時間：9：00～17：00

休館日：日曜日・祝日

会場：文京区教育センター2階「大学連携事業室」

主催：東京大学総合研究博物館

共催：文京区教育センター

問い合わせ先：03-5800-2591（文京区教育センター）

ニュース

東京大学コレクション未来基金

本館に収められた膨大な学術標本資料の保管機能と展示機能の改善を図るため、「東京大学コレクション未来基金」事業を立ち上げました。詳細は本誌6～8ページをご覧ください。

IMT展示

インターメディアテクでは、以下の展示を公開いたしました。

・2021年4月27日～2022年9月4日 特別展示『仏像工学——追体験と新解釈』

・2022年4月16日～2022年12月11日 特別公開『音のかたち——東京大学蓄音機コレクション』

・2022年4月26日～2022年7月18日 特別展示『プロトログ——山中俊治デザインの発生学』

スクール・モバイルミュージアム

文京区教育センターにて、2022年5月13日～10月31日に『蝶—魅惑の昆虫—』を公開いたしました。

小石川分館イベント

小石川分館では、館外イベント『AnnEX Lab.ソトラボ』として、以下を開催しました。

・第4回『東大植物学教室が「時計台」にあった頃』

日時：2022年9月30日（金）、講師：池田 博（本館准教授／植物分類学）

受賞

UMAC Award 2022で当館（特別展示+出版プロジェクト『蘭花百姿——東京大学植物画コレクションより』）がSecond Placeを受賞しました。この賞は、ICOM（国際博物館会議）の国際委員会の一つであるUMACが大学博物館とコレクションに関する優れた取り組みを表彰するものです。また、矢後勝也講師（昆虫自然史学、保全生物学）が日本昆虫学会の2022年度「あきつ賞」を受賞しました（下図）。この賞は昆虫学の発展に貢献する優秀なウェブサイトを作成した会員に表彰するもので、当館データベース「UMDB 昆虫」が受賞対象と



日本昆虫学会「あきつ賞」の授賞式

なりました。あきつとはトンボの古い呼び名に由来します。

出版

・『プロトログ——山中俊治デザインの発生学』

監修：西野嘉章・山中俊治

発行：東京大学総合研究博物館（2022年1月15日）

・『蘭花百姿——東京大学植物画コレクションより』

編者：東京大学総合研究博物館

発行：誠文堂新光社（2022年5月20日）

・『東京大学総合研究博物館動物部門所蔵 魚類標本リスト(2)』東京大学総合研究博物館標本資料報告第129号

著者：小枝圭太・上島 励

発行：東京大学総合研究博物館（2022年6月30日）

本館来館者

事前に申し込みのあった主な本館来館者は以下のとおりです（2022年7月12日～9月29日、敬称略）。

東京大学教育学部附属中等教育学校、東京都立上野高等学校、清泉女学院高等学校、新潟県立国際情報高等学校、福岡県立嘉徳高等学校、東京都立日野高等学校、文京区立本郷第二育成室、静岡県立富士高校、群馬県立前橋高等学校、大阪府立四條畷高等学校、アトリエFELT花澤、東洋大学附属姫路中学校・高等学校、滝川第二高校、福岡県立伝習館高等学校、子ども未来館、世田谷区立駒留中学校科学部

ボランティアのご協力

本館では、2022年4月14日から2022年9月30日の間、下記15名の方々にボランティアとしてご協力いただきました。

飯田義重、飯干ユミ、金子清敏、佐藤れい子、添田禮子、竹下勝人、成岡須美子、兵頭 勝、船窪英子、古川真由美、星 佳子、細野 剛、山田節子、渡邊淳子、金子清子（敬称略）

インターメディアテクでは、2022年4月1日から2022年9月30日の間、下記16名の方々にIMTボランティアとしてご協力いただきました。

伊藤 光、尹 杰、柏 勇希、栢場美帆、北里萌音、越田勇氣、古藤 南、坂本柚香、永田柊弥、袴田光平、山極瑞夕、村上七海、森 瑠璃、谷地美翔子、山口菜月、李 牧（敬称略）

小石川分館では、2022年4月1日か

Ouroboros

ら2022年9月30日の間、下記の1名の方に小石川分館ボランティアとしてご協力いただきました。

成田佳恵 (敬称略)

博物館教職員

2022年4月30日付けで小寺直子事務補佐員が退職しました。同年5月19日付けで小枝圭太特任助教が退職しました。同年7月1日付けで塚木千紗乃事務補佐員が、7月16日付けで渡辺早代技術補佐員が、8月16日付けで金銀眞学術専門職員が着任しました。同年8月31日付けで逸見良道特任研究員が、9月30日付けで久保泰特任研究員が退職しました。また、2022年10月1日付けで野内公一上席係長が柏地区共通事務センターへ異動して和田妃央一般職員が産学協創部から当館に配置転換しました。

現在の博物館のスタッフは以下のとおりです。

館長

西秋 良宏

研究部

キュラトリアル・ワーク研究系

教授 遠藤 秀紀

(比較形態学、遺体科学)

教授 海部 陽介

(人類進化学、形態人類学)

准教授 池田 博

(植物分類学)

准教授 佐々木 猛智

(動物分類学、古生物学)

講師 矢後 勝也

(昆虫自然史学、保全生物学)

特任研究員 工藤 光平

(人と動物の関係学、機能形態学)

博物資源開発研究系

教授 西秋 良宏 (先史考古学)

教授 三河内 岳

(惑星物質科学、鉱物学)

教授 (兼任) 宮本 英昭 (惑星科学)

博物情報メディア研究系

准教授 森 洋久 (情報工学)

助教 金崎 由布子

(アンデス考古学)

放射性炭素年代測定室

教授 米田 穰

(年代学、先史人類学)

特任研究員 尾寄 大真

(年代学、宇宙・地球化学)

特任研究員 大森 貴之

(年代学、分析化学)

特任研究員 齋藤 誠史

(地球化学、考古科学)

タンデム加速器分析室

教授 松崎 浩之

(加速器質量分析、同位体地球化学)

特任研究員 宮田 佳樹

(考古科学、文化財科学)

技術専門職員 土屋 陽子

(加速器質量分析試料調整、分析化学)

技術職員 徳山 裕憲

(加速器技術、加速器質量分析)

小石川分館

担当教員・助教 金崎 由布子

(アンデス考古学)

特任研究員 永井 慧彦

(彫刻、金銅仏製造)

マクロ先端研究発信グループ

特任助教 三木 健裕

(西アジア考古学)

ミュージアムテクノロジー寄付研究部門

担当教員・教授 西秋 良宏

(先史考古学)

特任教授 洪 恒夫(展示デザイン)

特任教授 松本 文夫(建築学)

特任助教 白石 愛(博物資源学)

インターネットメディアテック寄付研究部門

IMT館長・教授 西秋 良宏

(先史考古学)

特任准教授 関岡 裕之

(博物館デザイン)

特任准教授 松原 始

(動物行動学)

特任准教授 寺田 鮎美

(文化政策、博物館論)

特任助教 菊池 敏正

(文化財保存学)

特任研究員 中坪 啓人

(動物学)

特任研究員 上野 恵理子

(建築、美術解剖学)

顧問(名誉教授) 西野 嘉章

(博物館工学、美術史学)

太陽系博物学寄付研究部門

担当教員・教授 宮本 英昭

(惑星科学)

国際デザイン学寄付研究部門

担当教員・准教授 森 洋久

(情報工学)

特任研究員 大澤 啓

(美学、美術史学)

東京大学特別教授

特任教授 諏訪 元

(自然人類学、古人類学)

特招研究員

秋篠宮文仁(生き物文化誌学)

林 良博(国際動物学)

大場 秀章(植物分類学)

田賀井 篤平(鉱物学)

吉田 邦夫(年代学、考古科学)

諏訪 元(自然人類学、古人類学)

*スタッフは2022年10月現在で掲載

Ouroboros 第74号

本号の内容は本館ホームページ (<http://www.um.u-tokyo.ac.jp/>)
でもご覧になれます。多くの写真はカラーです。

東京大学総合研究博物館ニュース

発行日：2023年1月20日

編集人：佐々木猛智・矢後勝也・金崎由布子

発行人：西秋 良宏

発行所：東京大学総合研究博物館

住所：東京都文京区本郷7丁目3-1

郵便番号：113-0033

電話：050-5541-8600 (ハローダイヤル)

F a x : 03-5841-8451

E-mail: web-master@um.u-tokyo.ac.jp

Designed by Ken Sakamura

Printed in Japan

ISSN 1342-3614